

第1回第三次宇部市地域ふくしプラン策定委員会 議事要旨

- 1 日 時 令和7年8月25日(月) 10時～12時
- 2 場 所 宇部市役所 本庁舎棟3階 3-4会議室
- 3 出席者 委員10名 事務局10名
- 4 欠席者 委員 3名
- 5 議 事 (1) 第二次宇部市地域ふくしプランの進捗状況について
(2) 宇部市地域福祉意識調査について
(3) 第三次宇部市地域ふくしプラン骨子(案)について

6 概 要

(1) 挨拶

宇部市健康福祉部長、宇部市社会福祉協議会事務局長あいさつ

(2) 会長及び副会長の選出について

「第三次宇部市地域ふくしプラン策定委員会設置要綱」に基づき次の委員が選出され承認された。

- ・会 長：宇部フロンティア大学 伊藤 一統
- ・副会長：山口大学 斎藤 美矢子

(3) 議事について

議事(1)(2)(3)について、事務局から会議資料に基づき説明。議事(1)(2)は報告事項とし、議事(3)については、原案どおり承認された。

また、委員からの主な発言は以下のとおり。

7 委員発言要旨

- (1) 災害時に支援を必要とする障害者等が福祉避難所へ直接避難できるよう関係機関との連携の強化を。
- (2) 福祉避難所という名称自体も浸透していない。広く周知していくことも必要。
- (3) 身寄りのない人の死亡事案の増加が予想される。そのような方の死後事務について、相談できる仕組みづくりが必要である。
- (4) 基本理念と基本目標との整合性を図った方がよいのではないかと。
- (5) 次期計画の成果指標について実効性のある指標を検討して欲しい。
- (6) 親を亡くした子どもなど、養護者を無くした世帯への支援の充実が必要。
- (7) 地域交流ができるような施設マップを作成し、多くの方が集える場所を周知することで、活発な意見交換や情報共有が出来るのではないかと。
- (8) 終活事業について、民間とも連携しながら周知する必要がある、
- (9) 高齢者でも健康な方は多い。そのような方が活躍できるような仕組みづくりが必要
- (10) 相談窓口に足を運ぶことなく、アプリやSNS、FAQなどで相談できる施策、また、相談に対する回答のAIの活用を検討してはどうか。

8 その他

次回の「第2回第三次宇部市地域ふくしプラン策定委員会」は11月を予定。